

甲斐市議会 山梨県緑化センター跡地活用特別委員会 会議録

1. 開催日時 令和4年1月12日

2. 招集場所 甲斐市役所委員会室A

---

出席委員（9名）

委員長	藤原正夫君	副委員長	加藤敬徳君
	谷口和男君		秋山照雄君
	清水和弘君		金丸幸司君
	赤澤厚君		斉藤芳夫君
	小浦宗光君		

欠席委員（1名）

小澤重則君

傍聴議員（2名）

議長	山本英俊君		金丸寛君
----	-------	--	------

---

説明のため出席した者の職氏名

都市建設部長	齊藤一己君	都市計画課長	大木康君
緑化センター 活用推進係長	丸茂貴幸君		

---

職務のため出席した者の職氏名

議会事務局長	山田洋	書記	森田公
書記	長田大地		

審査内容

1 （仮称）篠原地区公園整備基本計画策定に伴う「市民ワークショップ」の報告に

ついて

2 「市民フォーラム」の開催について

3 その他

開会 午後 1時27分

○書記（長田大地君） ただいまから、山梨県緑化センター跡地活用特別委員会を開会いたします。

本日の委員会は、委員長より挨拶をいただきまして、引き続き、委員長の進行により進めてまいります。

それでは、次第の2、委員長挨拶。

藤原委員長、よろしくお願いいたします。

○委員長（藤原正夫君） 改めまして、おめでとうございます。

本年も相変わらず、よろしくお願いいたしますと思います。

それでは、ただいまより緑化センター跡地活用特別委員会を始めたいと思います。

ただいまの出席委員は9名です。定足数に達しておりますので、これより山梨県緑化センター跡地活用特別委員会を開会します。

なお、小澤委員は欠席の旨の連絡がありましたので、ご報告をいたします。

---

○委員長（藤原正夫君） 本日の委員会は、お手元に配付した次第のとおりで進めたいと思います。

なお、委員外議員許可ですけれども、議長ですので、よろしくお願いいたしますと思います。

それでは、これより、次第の3、内容に入ります。

（1）（仮称）篠原地区公園整備基本計画策定に伴う「市民ワークショップ」の報告について及び（2）「市民フォーラム」の開催については、関連がありますので、一括議題といたします。

担当より説明を求めます。

大木都市計画課長。

○都市計画課長（大木 康君） 大変お疲れさまでございます。本日もよろしくお願いいたします。

それでは、委員会資料をお開きください。

本日は、目次の内容、（１）（仮称）篠原地区公園整備基本計画策定に伴う「市民ワークショップ」の報告について、（２）「市民フォーラム」の開催について、一括にてご説明を申し上げます。

資料１ページをお願いいたします。

（１）（仮称）篠原地区公園整備基本計画策定に伴う「市民ワークショップ」の報告についてでございます。

山梨県緑化センター跡地を活用した（仮称）篠原地区公園の整備に向けましては、市民の意見を反映した整備基本計画を策定するため、昨年度実施いたしました活用アイデアの募集において、多くの提案をいただいた市の将来を担う子供たちの思い、アイデアを汲み取った公園づくりを目指すため、子供たちによるこどもワークショップと、子供たちのアイデアを基に具体的な整備について考察する大人ワークショップを開催してまいりました。

初めに、こどもワークショップでございますが、令和３年９月２０日の月曜日・祝日、午前１０時から正午まで、緑化センター跡地にて開催いたしました。

広報紙等で募集した一般公募の市内在住の小学生１９人が参加し、現地で自由散策や虫捕り、木の実拾い、鬼ごっこなど遊びを行いながら、グループワークにより、この場所で何ができる、何がしたい、気づいたことなど、アイデアの発掘を行いました。

昨年７月の特別委員会において、参加者のご心配もいただきましたが、当初募集定員２０人のところ、市内在住の小・中学生２３人からの応募をいただきましたが、新型コロナウイルス感染症のまん延防止等重点措置により、日程を二度延期したことにより、最終的に１９人の参加となりました。

次に、大人ワークショップでございます。

こちら、新型コロナウイルス感染症のまん延防止等重点措置により、日程を変更し、令和３年９月３０日を初回に、１０月７日、２８日、１１月４日、１８日の毎回木曜日午後７時から９時までの全５回の日程で、グループワーク形式により開催いたしました。

参加者は、地域団体からの推薦及び広報紙等で募集した一般公募の市民、合計２３人です。参加者の内訳は、一般公募が１１人、うち子育て世代として、５歳以上の子を持つ保護者が３人、６０歳未満が１人、６０歳以上が７人、団体推薦は、ボランティア協議会、愛育会、女性団体連絡会、老人クラブ、子どもクラブ指導者連絡協議会所属の１２人です。

実施内容につきましては、第１回は、昨年度募集いたしました活用アイデアを分析しなが

ら、5つの検討テーマを設け、自身が興味あるテーマを選択していただき、グループ分けを実施いたしました。

第2回は、9月20日に開催いたしましたこどもワークショップの様子について報告し、子供の視点と大人の視点からによるアイデア出しを行いながら、全体共有やアイデアの深掘りを実施いたしました。

第3回は、子供の視点を観点に、参加者のうち、子育て世代から応募いただいた3名にインタビュー形式でニーズなどの話を伺い、子育て世代のニーズから公園利用のストーリーを考え、公園のイメージをイラスト化する作業を実施いたしました。

資料2ページをお開きください。

第4回は、都市公園内に整備できる施設や建築要件などを確認しながら、アイデアの実現可能性を検討いたしました。また、アイデアを具体化しながら図面に落とし込み、アイデアを実現させる運営主体などについても検討いたしました。

第5回の最終回は、ワークショップのまとめと全体共有を行い、テーマの異なるグループの公園のイメージを主張した後に、個々の感想発表を行いました。

参考といたしまして、大人ワークショップで各班から出されましたアイデア、公園のイメージを取りまとめた資料を添付しておりますので、3ページをご覧ください。

横向きにご覧になっていただきますと、右下にAからDまで付された図面がございます。これは、地区公園として都市計画決定された（仮称）篠原地区公園のエリアを示したもので、Aが緑化センター跡地の北区画、Bが中央区画、Cが今年度取得いたしました民有地、Dが緑化センター跡地の南区画となっております。

1班は、活用アイデアを分析した5つのテーマの一つ、「にぎわいでつながる」をテーマに、Aの北区画は芝生広場や遊具、アスレチックなど、Bの中央区画は既存の森を活用した足湯、あずまや、植物園、児童用遊具やイベントスペースを兼ね備えた芝生広場など、Cの民有地の区画はカフェ、子育て支援、読書などの複合施設とテラスデッキなど、Dの南区画は屋根付多目的広場と駐車場などを配置した公園のイメージを検討いたしました。

資料4ページをお開きください。

2班は、活用アイデアを分析した5つのテーマの一つ、「のんびり過ごす」をテーマに、Aのエリアはシンボルツリーを備えた芝生広場、噴水、水遊びなど、Bのエリアは南区画の駐車場をつなぐ空中回廊、アスレチック、子育て広場など、Cのエリアは雨天時も遊べる屋根付広場や図書室、書道・絵画・切り絵などの作品展示室を備えたギャラリー、多目的施設

など、Dのエリアはミニ植物園と駐車場などを配置した公園のイメージを検討いたしました。

資料5ページをご覧ください。

3班は、活用アイデアを分析した5つのテーマの一つ、「多世代で楽しむ」をテーマに、Aのエリアは昔の遊びをテーマとする屋根付広場と休憩スペース、子供の遊びエリアなど、Bのエリアはハンモックなど木を生かしたりラックスエリア、緑の学びエリアなど、Cのエリアは噴水と飲食スペース、駐車場など、DのエリアはWi-Fi機能を備えたワーケーションエリア、イベントエリアを配置した公園のイメージを検討いたしました。

次に、資料6ページをお願いいたします。

4班は、活用アイデアを分析した5つのテーマの一つ、「のびのび遊ぶ」をテーマに、Aのエリアは木登りやハンモックなど自然を生かした遊びと、水遊びができる親水施設など、Bのエリアは既存樹木を活用したアスレチック施設など、Cのエリアは屋根付広場、芝生広場、管理・交流棟など、Dのエリアは駐車場とイベント等に使用可能な広場などを配置した公園のイメージを検討いたしました。

5班は、活用アイデアを分析した5つのテーマの一つ、「自然を愛でる」をテーマに、Aのエリアは自然を生かしたアスレチック、ツリーハウスなど、Bのエリアは市民交流やキッチンカーなどのイベントエリア、遊具など、Cのエリアは交流スペースや市民ギャラリー、カフェレストラン、防災機能を備えた芝生広場など、Dのエリアは屋根付広場と駐車場などを配置した公園のイメージを検討いたしました。

資料2ページにお戻りください。

(2)「市民フォーラム」の開催についてでございますが、こども・大人の両ワークショップのこれまでの経過と検討状況を踏まえ、ワークショップ内で取りまとめられた活用アイデアを市民の皆様に広く周知・発表し、公園の将来の姿を市民と共有しながら、計画実現に向けた地域の機運を醸成する場としてフォーラムを開催するものであります。

なお、市民の皆様には、広報1月号、市ウェブサイト等を通じてお知らせするとともに、再度、SNSにて周知を行うことといたします。

開催日時は、今月の22日土曜日午後1時30分から、受付は午後1時開始です。会場は竜王図書館2階視聴覚室、参加対象人数は新型コロナウイルス感染症対策における会場の人数制限の関係上、一般参加者は50人を上限とし、当日の先着順といたしますが、本特別委員会の委員を含む市議会議員の皆様には、別にお席を用意させていただいております。

実施概要につきましては、こどもワークショップの実施内容、成果報告と、大人ワークシ

ワークショップ各班の発表を予定しております。

なお、資料への記載はございませんが、県下における新型コロナウイルス感染症の状況に鑑み、現在のところ、感染防止対策を万全とした上でフォーラムを開催することといたします。このため、フォーラムの参加者には、長崎知事が本年1月7日付で発信いたしました新型インフルエンザ等対策特別措置法第24条第9項に基づく協力要請を受け、県内薬局にて無料で実施しております抗原定性検査の受検を前日をお願いするとともに、前日検査が受けられない場合も想定し、フォーラム当日検査が受検できるよう、現在、体制の調整を行っております。

詳細は、市ウェブサイトやSNSを通じて、市民の皆様にお知らせいたしますが、ご参加を予定しております市議会議員の皆様にはお手数をおかけすることとなりますが、何とぞご協力のほど、よろしくお願いいたします。

また、今後の感染者拡大により、昨年同様、まん延防止等重点措置や緊急事態宣言等が発令された際は、本フォーラムも日程の延期や中止など、開催困難な状況が想定されますので、フォーラムの予備日を2月13日日曜日、時間は同じく午後1時30分から、会場は竜王北部公民館ホールとして設けるとともに、映像配信による代替開催等も視野に入れながら、今後の状況により調整を行ってまいります。

なお、日程の延期や内容変更の際は、別途通知等にてご案内させていただきます。

以上で今回の説明を終わります。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

○委員長（藤原正夫君） 説明が終わりました。

なお、本日は委員外議員の傍聴を許可しますので、ご承知おきをください。

質疑は、委員の質疑を受けた後に傍聴議員の質疑を受けたいと思います。傍聴議員の質疑は、さきの申合せのとおり全会派1名とし、質問は1問、再質問は1回までとします。

それでは、これより質疑を行います。

ここで、委員並びに職員各位に申し上げます。質問は1問1答とし、また質問、答弁は簡潔明瞭にさせていただきますようお願いを申し上げます。

それでは、説明に対する委員の質疑を行います。

質疑等がありましたら、お願いをいたします。

谷口委員。

○委員（谷口和男君） この大人ワークショップのほうを拝見させていただいて、非常に皆さん熱心に討議されて、つくり上げているのを感じるものですから、ぜひこの案を基礎に、費

用等もちょっと付け加えて、また皆さんのところに諮ってほしいと思うんですけれども、いかがでしょうか。いわゆる建設費用とか、そういう概算のところも含めて、また後で出してもらえればなというようなことを感じているんですが。

○委員長（藤原正夫君） 大木課長。

○都市計画課長（大木 康君） 現在、活用アイデア、それと市民ワークショップを基に検討を進めている中で、今年度、整備基本計画におきまして、複数の整備のモデル例、配置をお示しした上で、それに対する概算費用の算出等も、この基本計画策定の中で行ってまいりますので、その段階でお示しのほうをさせていただきます。

○委員長（藤原正夫君） 谷口委員。

○委員（谷口和男君） あと、甲斐市の公園なんですけれども、ドラゴンパークとかK a i・遊・パークとか、いわゆる愛称がついているじゃないですか。それで、今回の（仮称）篠原地区公園になるんでしょうけれども、愛称募集とかそういうのは考えていらっしゃるんですか。

○委員長（藤原正夫君） 大木課長。

○都市計画課長（大木 康君） （仮称）篠原地区公園というのは、あくまでも都市計画決定の関係上、篠原地区公園というお名前をつけさせていただいておりますので、当然、開園に際しましては、上八幡公園、八幡公園というような愛称がついていると思うんですけれども、そのような形を取らせていただいて、なるべく市民の皆様にも、開園までに参加していただくような公園にさせていただきたいというふうに考えております。

○委員長（藤原正夫君） 谷口委員。

○委員（谷口和男君） じゃ、もう一つだけ、フォーラムで、先ほど映像配信とおっしゃっていたので、22日、そちらのほうから、できたらユーチューブの録画配信とか、あるいはライブ配信でも結構ですけれども、ぜひお願いしたいと思いますので、要望ですけれども、できそうだったらお願いします。

○委員長（藤原正夫君） 大木課長。

○都市計画課長（大木 康君） 今の映像配信の関係ですけれども、もともと今回、会場の都合で、上限を50人ということで制限をさせていただいております。また日程も、22日の午後1時半からということで、その日に限られた方しか来られない状況の中で、もともと映像配信につきましては検討しておりまして、なかなかライブ配信はちょっと難しい状況でございますけれども、録画等でユーチューブを通じて、市のホームページからアクセスできるよ

うな体制を整えてまいりたいというふうに考えております。

○委員長（藤原正夫君） よろしいですか。

ほかにありますか。

金丸幸司委員。

○委員（金丸幸司君） 1月22日に、今度、市民ワークショップで、1班から5班のアイデアを皆さんにお示しするという事なんですけれども、この5つの案の中から一つをその場で決めちゃうということなんですか。

○委員長（藤原正夫君） 大木課長。

○都市計画課長（大木 康君） もともと市民ワークショップのベースになるのは、昨年度募集しました活用アイデア、これが1,680通4,250件という通数なんですけれども、それを基に市民ワークショップで検討していただきました。ただ、それだけといっても、活用アイデアの全てを網羅しているわけではございませんし、あくまでも活用アイデアを基に、公園の整備のモデル例を検討していただいたというふうに我々は捉えております。それらを検討材料として、今後、具体的に公園にどういったものを整備していくかというものを検討する中の参考材料的なものとして捉えていただければというふうに考えております。

それと、発表につきましては、当日、各班の参加者がその場に来られまして、5班まで順次発表していただくような内容となっております。

○委員長（藤原正夫君） 金丸幸司委員。

○委員（金丸幸司君） あくまでも幅広く共有してもらおうということで、発表するという事で、その後って、今度はそれを受けて、今後どういうふうにするというのは、まだ先の話になるんであれですか。ちょっと先の話になっちゃうかもしれません。お示しして、共有をすることを思うんですけれども、その後というのは検討していますか。

○委員長（藤原正夫君） 齊藤都市建設部長。

○都市建設部長（齊藤一己君） 先ほどご説明ありましたとおり、現在委託しております山梨総研のほうへ、業務委託が3月18日までとなっておりますので、そこで成果が収められた後に、これらの市民ワークショップの内容等も踏まえて検討して、どういう方向で整備をするかというのを、その後に発表できたらというふうに考えております。

○委員長（藤原正夫君） よろしいですか。

齊藤委員。

○委員（齊藤芳夫君） ちょっと基本的なことを聞きたいんですけども、この1班から5班で、

グループ分けみたいなのは、初回のワークショップのときにグループ分けをしたと。そうすると、アイデアその他のいろいろなまとめは、初回に出た話だけがここに載っているというふうな解釈なのか、5回やったやつをまとめたのかということになると、だろうと思うというふうには、継ぎ足し継ぎ足しして案をつくったんだろうというふうには見えるんだけど、そうすると、初回につくった1班は1班で、ずっと同じ人が1班やって、ずっと2班、同じ人がやっているということですね、基本的には。

○委員長（藤原正夫君） 大木課長。

○都市計画課長（大木 康君） おっしゃるとおり、まず初回の第1回目のときに、活用アイデアを基にしたテーマを5つ決めまして、その中で自分が興味があるテーマのところにグループで集まっていたいただきました。その後、5回、1回目を除きますと4回で、それぞれが集まったメンバーで思う公園のイメージをどんどん積み重ねていただいて、最終的には、本日お出ししました資料として、公園のイメージをつくり上げてと。各回で同じメンバーが、どんどん作業、ワークショップを通じて、公園のイメージを積み重ねていったというふうに理解していただければと思います。

○委員長（藤原正夫君） 斉藤委員。

○委員（斉藤芳夫君） そうなると、1回目に来ていた人が2回目、3回目、4回目、5回目と、全部来ているとは限らない。あるいは、1回目に来なかったけれども、2回目、3回目と来た人がいた。そういうものというものは、どの班へどういうふうに割り振って、こういう取りまとめにしたか、基準は何ですか。

○委員長（藤原正夫君） 大木課長。

○都市計画課長（大木 康君） おっしゃるとおり、全てのワークショップ全5回に参加されていない方もいらっしゃいますので、必ずワークショップに入る前に前回の振り返りという時間を設けまして、前回どんなことをやったのか、各班がどんなことを考えているかというのをみんなで共有する場を設けまして、ワークショップが終了した後も共有する時間というのを必ず設けて、全員がそれぞれ、この一つの公園というテーマに対して情報共有できるような場をつくるように努めさせていただいております。

○委員長（藤原正夫君） 斉藤委員。

○委員（斉藤芳夫君） 私、そういうので心配なのは、例えば自分の先輩だとか仲間とかという形が、そういうふうに、あんたこっちおいでみたいのようなふうになりがち。そうすると、偏った意見にいきがちというようなところが見え隠れしないだろうかと、そこら辺のことが、

これは、幅広い市民の幅広い意見を5つの班に分けたという理由は何ですか、5つの班に分けた理由は。

○委員長（藤原正夫君） 大木課長。

○都市計画課長（大木 康君） このワークショップの基が、昨年度募集しました活用アイデアになるわけですが、通数にして1,680通と多岐にわたるものですから、我々が市民の皆様に対しましては、19の分野に分けて、こういった内容の意見がありますということで公表させていただきました。

さらに、その活用アイデアを細かく分析していくと、今回、テキストマイニングという手法、アイデアを一つ一つ分析していく中で、言葉的なイメージの、連鎖的な言葉はこういった一つの方向性につながるというようなものを、今回5つ分けました。

これは、今回ワークショップの参加者が23人ということで、おおむね一つのグループが5人程度で一つのグループをつくる中で、今回便宜的に、その1,680通のアイデアをテキストマイニングという手法で5つのテーマにこちらで分けさせていただいて、その中で自身が興味のある班に入らせていただいて、グループワークを行ったというような内容となっております。

○委員長（藤原正夫君） 斉藤委員。

○委員（斉藤芳夫君） それで、最終的に11月18日、結局、12月本議会があった云々ということもあるんだけど、昨日この資料をもらって初めて見るみたいな、それで今日、委員会ですよ。そうすると、これ私、昨日もらいに来て、読んでみて、ちょっといろいろ考えたんだけど、議会に報告、何らかの形、もうちょっと前にできる方法あったんじゃないかと思うんだけど、12月は定例議会もあった段階の中で、特別委員会は開こうと思えば開けたはずなんだけど、その辺はどうなんですか。

○委員長（藤原正夫君） 大木課長。

○都市計画課長（大木 康君） 確かに、ワークショップ自体は11月18日に終わっておりますが、実際ちょっと、私の手元には写真のイメージがあるんですけど、実際、ワークショップの中で、付箋を貼ったりして、あと写真を地図に落とし込んだりとか、そういう細かい作業をしておりましたので、それを成果として出すには少々お時間かかってしまうということで、今回、皆様には、あくまでも文言、テキストで落とした資料となっておりますけれども、実際、市民フォーラムにおきましては、それをきちんと図面に落とし込んだ公園の配置図みたいなものをお示ししながら、フォーラムでは、皆様にそういったものを見ていただき

ながら発表させていただくようなことで、今調整をしているところでございます。

○委員長（藤原正夫君） 秋山委員。

○委員（秋山照雄君） 絵を見ながらですけれども、A、B、C、Dというエリアがあるんですけれども、このAエリアというのは、面積的とかそういうものは大体想定した中の、こういうものを作られているのかどうか。その面積がもし分かったら、ちょっと教えていただきたいんですけれども。

○委員長（藤原正夫君） 休憩しますか。

ちょっと休憩します。

休憩 午後 1時54分

再開 午後 1時56分

○委員長（藤原正夫君） 会議を再開します。

丸茂係長。

○緑化センター活用推進係長（丸茂貴幸君） Aの北区画は、こちら7,545平米になります。

○委員長（藤原正夫君） じゃ、ついでにBは。

○緑化センター活用推進係長（丸茂貴幸君） Bの中央区画ですけれども、こちらが1万14.22平米になります。C、今回の購入した部分ですけれども、3,888.46平米、Dの南区画ですけれども、3,877.46平米です。

○委員長（藤原正夫君） 秋山委員。

○委員（秋山照雄君） そうすると、ラインははっきり分かんけれども、面積的にはこうやって、この中にそれぞれの5つの班の、そういうものがこの中に配置されたものは、もうできているということ。5つの案があるということですか。

○委員長（藤原正夫君） 大木課長。

○都市計画課長（大木 康君） おっしゃるとおり、公園の配置図、図面に合わせて、どういったものを整備するかといった図面は、フォーラムに向けて、最終的に今調整をしている段階でございます。

○委員長（藤原正夫君） 秋山委員。

○委員（秋山照雄君） その図面というのは、今回の委員会には提示してくれないということ

ですね。まだできないということですか。

○委員長（藤原正夫君） 大木課長。

○都市計画課長（大木 康君） 申し訳ありませんが、本日に間に合えば、ぜひ提示したいところだったんですけれども、ちょっと最終図面が間に合わなかったものですから、今回提示した資料で、ご説明のほうさせていただいたところでございます。

○委員長（藤原正夫君） よろしいですか。

ほかにございますか。

斉藤委員。

○委員（斉藤芳夫君） さっきからいろいろ、ワークショップのアイデアのまとめを見ながら思っているんだけど、先ほどいみじくも話が出た3月18日、山梨総研がいろいろ、基本的な納品になっていますよね。このワークショップから出た意見その他は、当然、山梨総研にも打合せの中に組み込まれて、何らかの形になって出てくるんだろうと思うんですけれども、どの程度の深みのところまで山梨総研が考えるか。それによっては、例えばの話、900万円かそこの発注でどこまでできるんだというのは、私が端的に感じる微妙なところなんです。上っ面の基本だけしかできないんじゃないだろうか、金額からして。

そういう中に、こんなに細かいことを、いっぱいいろいろなものを全部、山梨総研と協議していくとなると、本当の具体的な企画案そのものは、もっとお金のかかる時点のところ、もっと深掘りするものが発注されていくという格好に感じるんだけど、その辺はいかがですか。

○委員長（藤原正夫君） 大木課長。

○都市計画課長（大木 康君） 今回、山梨総研に委託しております整備基本計画の内容につきましては、まずはベースとなる活用アイデアの適正考察、それと分析です。それで、大人・こどものワークショップを踏まえた中で、今後、このワークショップ、5つの班から出ているわけですが、それとは別に、活用アイデアの中から幾つか、当然導かれる公園の整備例みたいなものもあると思いますので、それらを網羅しまして、複数の公園の整備イメージをまず配置例として作成します。

それに対して、概算事業費、本当に超概算でございますけれども、大体の、いろんな先行事例等を踏まえて算出した概算事業費になるかと思いますが、それを算出するというのが、今年度お願いしている整備基本計画策定業務になりますので、最終的な成果は、複数の整備例をお示しすると、その整備例を整備した場合、概算事業費としてどのくらいのものがか

かるのかといったものを、皆様にお示しするといった内容となっております。

○委員長（藤原正夫君） 齊藤委員。

○委員（齊藤芳夫君） この特別委員会自体が、いわゆる議会として、市民の代弁者の特別委員会なわけですよ。そうすると、この間、長い間いろいろなことをやってきましたよというけれども、都度都度、経過がこうで、こういう状況でこうでありますみたいなこと、それで、これからの予定はこういうふうになっていきますというようなことを、この委員会にかけない、あるいは中途半端なところで言わないで、みんなまとまってから報告というような格好だと、これ、はっきり言って、私が思うには、やっぱり特別委員会なので、もっと綿密に、細かな情報が絶えず行き交うような情報にならんとおかしいと思うんだけど、その辺はどう感じていますか。私らのほうから要望しないからやらないという話なのか、その辺も聞きたい。

○委員長（藤原正夫君） 齊藤部長。

○都市建設部長（齊藤一己君） 今回の内容は、冒頭からご説明させていただいているとおり、こどもワークショップ、それから市民ワークショップで出た内容をお示しさせていただくということで、大人ワークショップにつきましては、先ほどご説明させていただいたとおり、5回に分けてやっておりますので、積み上げていく段階の過程をこちらにご報告するのがいいのかどうかは、ちょっと別の話になりますが、今回、こういった形で成果が出ましたということでご報告させていただいたのが、今回のタイミングだったということでご理解していただきたいなど。

決して、そちらから要望があるから、ないからということではなく、こちらのほうは、情報提供できる内容については積極的に提供させていただきたいというふうに考えております。

○委員長（藤原正夫君） 齊藤委員。

○委員（齊藤芳夫君） 分かるんだけど、いよいよ具体的に3月18日に納品になってくるという時期の直前に来て、やっぱりもう少しこの委員会を、何度か開けるもの、あるいは議員なら議員、委員なら委員が考えているものの発案みたいなもの場もつくってもらわないと、やはり何となく特別委員会の設置そのものが、今まで過去の記録を見ると、フラワーパーク&ミュージアム、それに関する特別委員会は要らないんじゃないかという意見もあった。でも、それ以後、篠原地区都市公園というふうには、名目的には跡地活用には変わりはないんだからと、今までずっとやってきているので、やはり変化があって進んできているんだから、極力、委員会を数開いて、いろんな意見を聴取して、ワークショップに来た人の意見だ

けじゃなくたって、意見はほかにいっぱいあるはずなんだ。そういうことを私は要望するんだけど、どうなんですかね。

3月議会に入ったら、また3月の議会だから特別委員会は開けませんみたいな話になると、ちょっといかがかなど。納品の前に、もう少し委員会を開くはできないですか。

○委員長（藤原正夫君） 齊藤部長。

○都市建設部長（齊藤一己君） 活用の内容について改めてお伺いするというようなことは、正直考えておりません。あくまでも、市民の活用アイデアを募集する機会がございましたし、また今回、それらを基に、大人ワークショップを開いて、市民とのコンセンサスを図っていったというところがありますので。もちろんこちらの特別委員会の委員の皆様から、俺はこういうことを考えているよとか、こういったものにしたほうがいいんじゃないかというご意見を伺うことは、私どももお伺いいたしますが、改めてお一人お一人に、どういったものにしたらいいかというようなことをお聞きすることは、現在のところ考えてはおりません。

○委員長（藤原正夫君） 齊藤委員。

○委員（齊藤芳夫君） 議事録に残らないところでの話を何ぼ聞いても、基本的に議員の、じゃ委員は何をしているというふうに言われることになります。

私たちは一応、来年の4月までは任期中でありますので、この問題はここで解決する問題じゃないだけに、やはりもう少し綿密な会議が開かれる状態、開いたことによって、議事録、発言録が残るといような状態をつくらないと、市民の理解を得るのは非常に難しい。そういうところら辺を。やっぱり今後検討課題にして、もっと密に会議を開けるような方法を取ったほうがいと私は思うんだけど。

○委員長（藤原正夫君） それは要望でいいですか。答弁は。

○委員（齊藤芳夫君） お願いします。

○委員長（藤原正夫君） 齊藤部長。

○都市建設部長（齊藤一己君） そういったご意見があるということで承らせていただいて、検討させていただきたいと思います。

○委員長（藤原正夫君） ほかにございますか。

赤澤委員。

○委員（赤澤 厚君） 本当に、こうやって課題の、市民との対話、市民の意見を尊重しろという中で、こうやってワークショップを開いて、市民の意見を聞いた結果が出てきた、これは私も一定の評価をしたい。ただ、齊藤委員の言うことも一理あるので、その辺も踏まえた

中で、やっぱり議会としての特別委員会の、我々の立ち場も、この委員会の意味もあるから、そこら辺を十分考えた中で、やっぱりやってもらいたいと思う。

それで、先ほど、これにはないんだけど、今後、総研は3月までですね、一応。そうすると、基本的に、ある程度のアウトラインというかな、それが出てきて、当然、来年度から、令和4年度から、どんなふうな事業で、予算的なもの、当然予算も、当初計上するのか、補正で来るのか、ちょっとその辺分かんないんだけど、具体的に令和3年度で、総研のアドバイスもらったり、こうやってワークショップ開いて、そこで皆さんの意見を聞いて、最終的な結論というか方向性は、令和3年度で、ある程度の方向性は出すということによろしいんですか。それちょっと確認だけしたいんですけども、どうですか。

○委員長（藤原正夫君） 齊藤部長。

○都市建設部長（齊藤一己君） 実際のところ、総研のほうで、先ほどお話ししました複数の案を取りまとめますので、それらを参考に市の内部で協議をさせていただいて、今年度中にできればしたいですし、無理であれば、年度の初めのほうには、こういった形のもが出てきています、こういったものからこういった案に絞っていきますというようなことをお示しさせていただけたらというふうに思っております。

○委員長（藤原正夫君） 赤澤委員。

○委員（赤澤 厚君） 悪いね、今後の件でご答弁、申し訳ない。今、部長のほうから話あったとおり、基本的に我々も、今議会の任期は3月、4月もあるけれども、3月はほとんど会議なんていうのは、だから、そのときにもう一回、総研が出したものの、ある程度の、幾つか、一つに絞らんとするけれども、市の幹部会議にかけるようなものも、また具体的に事前に議会にも報告をしてもらえるとということによろしいんですか。その辺はどうなんですか。

○委員長（藤原正夫君） 齊藤部長。

○都市建設部長（齊藤一己君） 繰り返しになりますが、3月18日の納期を待って、内容を検討させていただいて、年度内に開催できるようでしたら、また委員長と日程のほうを調整させていただいて、開けるようならば開かせていただきたいというふうに思っております。

○委員長（藤原正夫君） 赤澤委員。

○委員（赤澤 厚君） できるだけ、さっきからいろんな意見もあるので、せっかく特別委員会つくって、我々の任期があるのは事実だから、任期は最後だから終わりじゃなくて、やっぱり今期、令和3年度の中で、できるだけその辺が、分かった範囲で報告してもらえように。その中で、やっぱりいろんな意見も出るだろうし、我々議員の意見も反映できると思

うので、ぜひその辺を前向きに、これは委員長にもお願いしたいんですけども、よろしくその辺を検討してもらいたい。これ要望で結構です。よろしくお願いします。

○委員長（藤原正夫君） 齊藤委員。簡潔にね。どうぞ。

○委員（齊藤芳夫君） この紙の資料を、昨日私、取りに来たんですよ。だけれども、端末用意して与えられているのに、特別委員会のボックスの中にないわけですよ。資料ですらボックスの中にない。そうすると、私は取りに来ないと、あした委員会に困るなど思ったから取りに来ましたけれども、それで前もって読んでみたけれども、だけれども、せっかくタブレット端末を一人一人に持たせているのであれば、事前知識として、こういうものは発表してもいいんじゃないかと思うんですけども、その辺はどうなんですか。

○委員長（藤原正夫君） 事務局長。

○議会事務局長（山田 洋君） タブレット端末につきましては、議会が先行して所有しています。ですので、執行側はまだ持っていない状況であります。執行については、2月1日に説明会と操作研修会を開いて、そこからスタートする状況になります。ですので、資料をここへ入れるとなると、多分執行にやってもらうことになると思うんですけども、そんな状況で、今のところ入っていないという状況で、ご理解いただきたいと思います。

以上です。

○委員長（藤原正夫君） よろしいですか。

山田局長。

○議会事務局長（山田 洋君） 今後につきましては、ペーパーレスということも踏まえまして、執行側と議会とで相談する中でやっていきたいと思いますので、ご理解をお願いします。

○委員長（藤原正夫君） 谷口委員。

○委員（谷口和男君） この内容については、1月22日ということなんですけれども、先ほどの話だと、これを基にして、山梨総研で複数の案を出すということなんですけれども、ただ、議会だけじゃなしに、それであつたら、もう一回、集まっていた市民の方とか、そういうふうなところで意見を聞くとか、反応を見るとか、そういうことにすべきだとは思いますが。

○委員長（藤原正夫君） この中で、もう一度……

○委員（谷口和男君） この中で、もう一度、ワークショップに参加された方とか、あるいは市民のほうに発表して、パブリックコメントでも何でもいいですけども、意見を聞くとか、そういう手順も、そのほうがいいと思うんですけども。

○委員長（藤原正夫君） 大木課長。

○都市計画課長（大木 康君） あくまでも参考意見としてお伺いさせていただきますが、今回の計画策定につきましては、市民の皆様意見を幅広く、市民合意形成の一環として、これまでの公園整備にはなかった市民参加ということで、アイデアの募集だったり、市民フォーラムの開催という手順を踏んでまいりました。これらを基に、公園の具体的整備に向けて進めてまいるわけですが、今現在、それをまた持ち帰って、また市民の皆様にお知らせして、そこでまた意見をいただくとなると、これはエンドレスになってしまう可能性もありますので、そこは、これまで市民参加ということで進めてまいりましたので、市でこういったものを整備していきたい的な方向性は、ある程度お示しのところをさせていただいてというふうに考えております。

○委員長（藤原正夫君） 加藤副委員長。

○委員（加藤敬徳君） ちょっと似たような形の質問になるんですけども、今回、5班のあれを発表するというので、例えばそれに対しての市民の反応とか、そういったものを取るというのはないんですか。例えば、この案が一番評価、支持を得ているとか、そういった部分とか。

○委員長（藤原正夫君） 大木課長。

○都市計画課長（大木 康君） 当日会場で、市民参加の一環として、そういう感想的なものをメモに書いていただいて、ちょっと今、形式のほうは最終調整をしているんですけども、なるべく双方向でできるようなもので、今、調整のほうを行っているところでございます。

イメージ的には、その発表を基に、この班がよかったとか、今後こうしたらいいんじゃないかというようなものを、例えば付箋紙とかに書いていただいて、それを会場の外で各班のところに貼っていただくとか、なるべくその参加していただいた方の反応を取り入れるような形で、今、フォーラムの内容を調整しているところでございます。

○委員長（藤原正夫君） 加藤副委員長。

○委員（加藤敬徳君） そういうことであれば、例えば会場に来た人だけじゃなしに、もっと、例えばライブ配信とか、もしユーチューブ配信とかできるのであれば、そこからまた、そういった見た人からの意見とかも集められるようにしたほうがいいんじゃないかと思うんですけども、どうですか。

○委員長（藤原正夫君） 大木課長。

○都市計画課長（大木 康君） おっしゃるとおり、ユーチューブとかで配信した場合、コメ

ント機能とかありますので、うまくそういった機能を使いながら、なるべく見ていただく方にも実際参加していただくようなイメージですね、そういったものを意見をいただくような機会も調整させていただきたいと思います。

○委員長（藤原正夫君） ほかにございますか。

谷口委員。

○委員（谷口和男君） 一応、ここで5つ出てきたんですね。今度、概算して絞っていくということで、複数とおっしゃっていたので、それから一つに決定するのであれば、やっぱり加藤委員おっしゃっていたように、市民の意見をどんどん聞く方向で決定していただきたいと思いますということなんですけれども。

○委員長（藤原正夫君） 要望ということだよ。要望だそうですから、分かりました。

ほかにございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（藤原正夫君） なければ、これで委員の質疑を終わります。

続いて、傍聴議員の質疑を許します。

質疑ありませんか。

金丸議員。

○議員（金丸 寛君） これまでワークショップ、子供、大人含めてやられて、順を追ってやられてきたというのは、そのとおりでと思いますけれども、総研さんに投げている、それが3月18日に戻ってくるという予定のようなんですけれども、3月18日といえば、議会終わっちゃっていますよね。先ほども出ましたけれども、その前に何らかの特別委員会の開催という要望もあったと思いますけれども、仮に3月18日に、総研さんの回答といいますか、依頼している案が、こちらで要望した5班が検討した案が反映されたものが出てきて、これがいまいちというふうなものが出てくるということも考えられますけれども、いや、そうじゃなくて、いろいろ案を出していただいたけれども、実はこれのほうがいいよという、予想外の案といいますか、箱物が出てきたりとか、そういった今までの展開と違うような結果、そういったものを出してくる、あるいは、そんなものが出てきちゃうという予測といいますか、何か皆さんのやり方をずっと見ていると、何か出てきそうな気がするんですけども、その辺の懸念のところは、どのように考えていらっしゃいますか。

○委員長（藤原正夫君） 大木課長。

○都市計画課長（大木 康君） あくまでも、この公園の整備基本計画策定につきましては、

活用アイデアを全てのベースとして、市民ワークショップを進めてまいりました。ですので、私個人の理解という部分もございますが、あくまでも今回の（仮称）篠原地区公園の整備につきましては、活用アイデア1,680通4,250件が基礎になると。それを基に、当然5つのワークショップの成果もございますが、当然市の政策とか、いろんな面もいろいろ調整・検討しながら、最終的には具体的な整備内容を決めていくのではないかというふうに想定しているところでございます。

○委員長（藤原正夫君） 金丸議員。

○議員（金丸 寛君） ぜひ、方向性としては、たくさんアイデアをいただいているので、その集約というか、チョイスしながら、いいものを入れていただくというのが市民目線だと思います。

その中で、私もアイデアのところの一つ出させていただいた経緯がありますけれども、インクルーシブ公園ですか、要するに、障がいを持った子供たちと健常の子供たちとの融合を図るものもよろしいんじゃないかというようなことを出させていただいた経緯がありますけれども、ここには具体的には、そういうものは載ってはいませんが、子供広場とかいろいろ、そういう形で取り上げていただいていると思いますけれども、ぜひとも市民の皆さんが納得できるような公園、そういったものの完成を目指して頑張っていただきたいと思います。希望です。

以上です。

○委員長（藤原正夫君） 要望でよろしいですね。分かりました。

以上で、篠原公園整備基本計画策定に伴う「市民ワークショップ」の報告について及び「市民フォーラム」の開催についてを終了します。

私のほうから2点ほどお聞きをしたいんですけども、まず、2番目の「市民フォーラム」の開催ですけども、説明だと、一般参加者、先着順50名ということであってあるんですけども、その際に、特別委員会の委員さんの席は取ってあるということですけども、それは50名の中に入っているということですか。

〔「入っていないです」と呼ぶ者あり〕

○委員長（藤原正夫君） というと、やっぱり先着……

〔「一般の人は50人、議員は別」と呼ぶ者あり〕

○委員長（藤原正夫君） 議員は別ね。というと、60、70人ぐらいになっちゃうということだな、極端に。だそうです。でいいということね。

ぜひ、1月22日土曜日は、特別委員の方、なるべく参加をお願いしたいと思います。

もしそれが、コロナの状況によりまして、課長の説明だと2月13日になるということですが、それでも、大体その時点というのは、どの辺で大体あれするんですか。様子を見ながらということですが、事前に、それはまた、この間際……

〔「県から特に指示等が出てこなければ」と呼ぶ者あり〕

○委員長（藤原正夫君） 了解しました。

それと、再三皆様から、ちょっと間がありました。9月から11月18日まで、5回のフォーラムがあったんですけれども、その中で、私と大木課長と齊藤部長の3人で、かなり、開こうか、開こうかと、中間で発表したらいいいんじゃないかということに練っていたんですけれども、なかなか集約するまでには時間がかかったり、いろんなことで、5班という班の幅の広さが、なかなか集約できないということもありまして、12月にやるべきことがここまですになったことを、大変私も委員長としておわびを申し上げます。

最後には、18日の山梨総研さんのあれがあるんですけれども、そうはいつでも、私個人的には、皆さんの委員の中で、A、B、C、D4ゾーンの中の一つぐらいは、議員の意見もちょっと取り付けた施設もあったほうがよかったんじゃないかと。これはまた、年度を越して、そんな意見も加わると思いますので、ぜひご理解願いたいと思います。大変申し訳ありませんでした。

次に、（2）その他に入ります。

初めに、都市計画課より、その他何かありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（藤原正夫君） なければ、委員より、その他何かございますか。

清水委員。

○委員（清水和弘君） お尋ねしたいんですけれども、具体的にいよいよ動き始めましたけれども、周辺自治会への環境整備に係る説明会とか等々、どんなふうに考えているか。もし工程化されているようでしたら、お聞かせください。

○委員長（藤原正夫君） 大木課長。

○都市計画課長（大木 康君） 今回、地区公園ということで、おおむね徒歩で1キロ圏内の地区を対象とした公園整備をする中で、当然、公園を整備した後に、例えばボランティア団体だったり地元団体、公園をそういった何らかの形で運営していく団体、あるいは、自治会がどういうふうに公園を使っていくかということは、この整備基本計画の中でも、ある程度

つかんでおきたいというふうに考えておまして、現在、篠原地区の自治会を対象として、そういった聞き取り調査の日程調整も、山梨総研を踏まえて、今ちょっと調整をさせていただいているところですので、篠原地区の自治会につきましては、公園の利用形態と運用形態について、一度お話をお聞きする機会をつくらせていただくことを予定しております。

○委員長（藤原正夫君） 清水委員。

○委員（清水和弘君） 具体的には、まだ決まっていないということによろしいですね。日程的なものです。

○委員長（藤原正夫君） 大木課長。

○都市計画課長（大木 康君） 今月の21日に、篠原地区の自治会の役員さんが集まる機会があるというふうに伺っておりますので、その際に、できれば市と、あと山梨総研と一緒に出向いて、先ほど言いました公園の利用形態、運営形態について、地元の意向などをお聞きできればというふうに考えております。

○委員長（藤原正夫君） 清水委員。

○委員（清水和弘君） それでは、日程的なものはよく分かりましたので、できるだけ地元の声が届いて、聞いていただきますようお願いしまして、要望しまして終わります。

○委員長（藤原正夫君） よろしいですね。要望だそうです。

ほかに。

斉藤委員。

○委員（斉藤芳夫君） 公園整備に係る接続の県道の県との具体的な詰め、当然のごとく、今までの説明等がベースになった話になると思うんだけど、そこら辺については、今、要望の中には、駐車場がどうの、バスが入る云々と、過去にもいろいろ説明があった。県と市で、その通学路の安全とか、歩道がない部分についてどうするかという話が、過去にもずっと懸案になってきているやつがあるもので、その辺のところも本気になって具体的に詰めて、案もそうだけれども、日程もいろいろ詰めた計画をやっていかなきゃいけないんじゃないかなというふうに思うんですけども、その辺は、現状どうなっていて、見通しはどうですか。

○委員長（藤原正夫君） 大木課長。

○都市計画課長（大木 康君） 現在、本事業に伴いまして、県道甲斐中央線の道路整備につきまして、中北建設事務所と一緒に協議をしている状況でございます。

過去にも本委員会において、甲斐中央線の整備の状況等、方向性等、お話のほうをさせて

いただいたところもございますが、ちょうど上篠原の交差点、火の見やぐらがあるところですね、市道竜王玉川線の交差点から、あとは、今回取得をいたしました太興紙業という、今の建物があるところですね、おおむねあそこまでの区間の道路整備のほうを県のほうでも計画のほうしております、測量設計等の業務も一部進んでいるような状況でございますので、それに合わせて、市もその道路の整備、併せて歩道ですね、歩道が今1メートルぐらいしかない、非常に狭小な歩道で、段差もあって危ないですから、そういった歩道の解消とかも含めて、道路改良の協議のほうを進めさせていただいておりますので、そちらの協議の状況が調いましたら、また本委員会でもご説明のほうをさせていただきます。

○委員長（藤原正夫君） よろしいですか。

なければ、引き続き、次第の4、特別委員会関係のその他を行います。

委員より、特別委員会関係で、その他が何かありましたら、お願いをいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（藤原正夫君） 事務局よりありましたら、お願いをいたします。

〔「ございません」と呼ぶ者あり〕

○委員長（藤原正夫君） なければ、その他を終わります。

以上をもちまして、本日の日程は全て終了しました。

これをもちまして、山梨県緑化センター跡地活用特別委員会を閉会といたします。

ご苦労さまでした。

閉会 午後 2時30分